2月の行事予定

１１月～３月の帰宅時刻　*午後４時*

TEL　忠類小学校　01558-8-2209

日	曜	学　校　行　事	スキー学習	日	曜	学　校　行　事	スキー学習
1	土			15	土		
2	日			16	日		
3	月	CIR スキー学習	１・２年	17	月	CIR	
4	火	スキー学習	３～６年	18	火	スキー記録会予備日	
5	水	６日課 スキー学習　職員会議	３～６年	19	水	幕別町教育の日　６日課 職員会議	
6	木	CIR　スワディ号　スキー学習 ６年生中学校１日体験入学	１・２年	20	木	CIR　スワディ号 新１年生一日入学・保護者説明会	
7	金	スキー学習 クラブ	３～６年	21	金	３・４年生校外学習 後期児童会総会（反省）	
8	土			22	土		
9	日			23	日	天皇誕生日	
10	月	CIR スキー学習	１・２年	24	月	振替休日	
11	火	建国記念の日		25	火	児童会役員選挙運動（２８日まで） PTA 広報体育委員会	
12	水	６日課　スキー学習 研修日	午前１・２年 午後３～６年	26	水	６日課 クラブ⑪⑫　職員会議	
13	木	CIR　たてわり読書（６年生） スキー学習	午前１・２年 午後３～６年	27	木	CIR たてわり読書（５年生）	
14	金	スキー記録会 児童会（反省）	全校	28	金	参観日１・２年	

各種活動もがんばっている子どもたちです！

子どもたちは日々がんばっています。
校長室に嬉しい報告に来てくれた子どもたちを紹介します。

柔道　　さん

スケート
４大会優勝
さん

版画　　さん

子どもたちのがんばりは職員室前の廊下に掲示しています。

おめでとうございます!今後も、がんばってください!

しらかば

ちゅうるい学園
幕別町立忠類小学校
学　校　便　り
令和７年１月27日
第　５５７　号

「新しいつながり」（学園目標）
「見通す力」「コミュニケーション力」「論理的思考力」

・毎月１９日は，幕別教育の日（地域の皆様の１日参観日です。散歩のついでにぜひお立ち寄りください）
・毎月１９日は，ノーテレビ・ノーゲーム・スマホルール確認の日　（親子でルールをご確認ください）

「新たな年を迎えて」

校長　　浪　内　洋　一

新しい年を迎え、１月１４日（火）より、３学期が始まりました。授業日は４７日と短い期間ですが、１年間のまとめ、そして、次年度への準備という、大切な学期となります。

今年度は、「自立」を合い言葉に教育活動を進めてきました。集大成の時期となりますが、子どもたちには、

「きれいな環境」を意識することが大切です。

下駄箱や教室のロッカー、机やかばんの中などは、自分できれいにできます。

学校をきれいにするために、みなさんは掃除をしています。モップをかけることが掃除ではなく、床をきれいにすることがそうじです。

お互い気持ちよく生活するために、「きれい」を意識して、充実した３学期にしましょう。

と、伝えました。

今学期での更なる成長を期待しています。

今年から、スケート学習は、大樹町営リンクをお借りして行っています。きれいに整備された１周４００mの距離の長いリンクで、子どもたちは一生懸命練習に取り組んでいました。今年は例年になく積雪が少なく、グラウンドにも土が見えるときもありました。自校リンクから方向を転換し、良かったと感じています。

今後は、スキー学習を予定していますが、積雪の状況等を鑑み、忠類白銀台スキー場のオープンを待ちながら、予定の変更も視野に進めていきたいと考えています。

（オープンを待つ白銀台スキー場：１月２７日撮影）

さて、今年は、巳年です。

蛇は冬眠から覚め、脱皮を繰り返して成長します。古い皮を脱ぎ捨てて、新たに生まれ変わることから「再生」や「変革」、新しい段階への「起点」の象徴とされています。

忠類小学校、ちゅうるい学園においても、職員一丸となって、いろいろなことにチャレンジする１年にしていきます。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

1月の取組

新しい年を迎え、子どもたちも

元気にがんばっています！

スケート学習がんばりました！

今年度より忠類小学校グラウンドでのリンク造成を行わず、大樹町の町営リンクを使用してスケート学習に取り組むことになりました。今年の稀にみる雪不足と暖かい気温で、管内ではスケート学習の実施が難しいところもあるようです。２週間という短い間ですが、子どもたちはスケートに楽しんで取り組みました。

ちゅうるい学園　小中合同研修会

１月１５日（水）に忠類中学校にて、小中合同の研修会を実施しました。テーマごとにグループに分かれて、様々な視点から学園としての取組の反省や、今後に向けての協議など行いました。

令和６年度　２回目　ちゅうるい学園　忠類小学校評価　　集計結果

No.	評価項目	児童平均		保護者		教職員	
		後期	前期	後期	前期	後期	前期
ちゅうるい学園　めざす子ども像　（あたま：知）							
	探究心をもち　想像力をはたらかせ　自ら学ぶ子ども						
1	人の話をしっかり聞き、自分できちんと考え、積極的に発表することができている。	**3.1**	3.1	**2.9**	3.1	**3.4**	3.3
2	学校で学んだことを、日頃の生活に生かすことができている。	**3.0**	3.2	**3.4**	3.0	**3.2**	3.0
3	日頃、いろいろなことに疑問をもち、どうしてなのかを考えることができている。	**3.3**	3.3	**3.2**	3.1	**3.5**	3.2
ちゅうるい学園　めざす子ども像　（こころ：徳）							
	礼儀と感謝の心をもち　優しい気持ちで　人を思いやる子ども						
4	返事やあいさつ、感謝の気持ちを素直に表すことができている。	**3.6**	3.5	**3.2**	3.2	**3.5**	.3.5
5	他者への思いやりの心をもって優しい気持ちで生活することができている。	**3.3**	3.3	**3.5**	3.6	**3.3**	3.4
6	まわりの人と積極的にかかわり、仲良く過ごすことができている。	**3.2**	3.4	**3.2**	3.3	**3.5**	3.2
ちゅうるい学園　めざす子ども像　（からだ：体）							
	健康でたくましい体をもち　根気強く　チャレンジする子ども						
7	規則正しい生活習慣が身についている。	**3.2**	3.1	**3.1**	3.5	**3.2**	2.9
8	日頃から体を動かしたり、バランスのとれた食事をとったりするなど、健康に気をつけたり、体を鍛えたりする習慣が身についている。	**3.3**	3.3	**3.2**	3.3	**3.5**	3.2
9	新しいことや難しいことにチャレンジし、あきらめずに努力する習慣が身についている。	**3.2**	3.3	**3.3**	3.1	**3.7**	3.4
ちゅうるい学園　めざす子ども像　（ふるさと：郷土）							
	夢と誇りをもち　仲間と未来を語る　ふるさとを愛する子ども						
10	自分のことや、家族や仲間のことを大切にし、役割を果たそうとする姿勢が身についている。	**3.4**	3.5	**3.4**	3.5	**3.4**	3.4
11	「ふるさと学習」に進んで取り組み、ふるさとに愛着をもって生活している。	**3.2**	3.0	**3.0**	2.9	**3.5**	3.0
12	夢や目標をもち、それに向かって努力する姿勢が身についている。	**3.4**	3.5	**3.1**	3.0	**3.2**	3.0

～考察～

児童の結果から

- ４点満点中すべてが３点を超えており、おおむね高い評価となっています。前期と比較すると、わずかな増減で大きく変化していません。「学校で学んだことを、日頃の生活に生かすことができている。」と「まわりの人と積極的にかかわり、仲良く過ごすことができている。」という項目が前期と比べ 0.2 下がっています。子どもたちが学びの意義を感じ取れるように「実生活にどう役立つのか」を意識させる活動を増やしたり、人間関係が固定化しないように、学年をまたいだ交流やグループ活動を活性化させたりしていきたいと考えています。
- 「返事やあいさつ、感謝の気持ちを素直に表すことができている。」の項目では、0.1 上がり、児童会を中心としたあいさつ運動の取組が子どもたちへの意識付けに伝わっている結果だと考えます。また、「「ふるさと学習」に進んで取り組み、ふるさとに愛着をもって生活している。」の項目では 0.2 上がって、前期から活動を進めてきたふるさと教育「シーニックカフェ学習」や「かぼちゃプロジェクト」などの継続した取組が反映された結果だと考えます。今後も、郷土愛を育む学習活動を継続して行ってきます。

保護者の結果から

- 学びを生活に生かす意識の向上やチャレンジ精神の育成が評価されています。「学校で学んだことを、日頃の生活に生かすことができている。」の項目では、児童アンケートとは逆に、0.4 と大きく増えており、学校での学びを家庭や日常生活に結びつける具体的な取り組みが進んでいると評価いただけている結果となりました。特に、生活科や総合学習での実践的な活動が成果を上げたと考えられます。また、「日頃、いろいろなことに疑問をもち、どうしてなのかを考えることができている。」や「新しいことや難しいことにチャレンジし、あきらめずに努力する習慣が身についている。」も上がっており、問いかけを従事する授業スタイルやチャレンジ精神を育む活動を、一人一台端末を利用した学習の積み重ねが評価につながったと考えます。
- 「人の話をしっかり聞き、自分できちんと考え、積極的に発表することができている。」は 0.3 を切る結果となりました。発表の機会が少なかったことや、授業内での発言に対しての支援が十分でなかった可能性が考えられます。子どもが安心して意見を述べられる環境を整え、発表や意見交換を自然に取り入れる場を増やしていきます。また、「規則正しい生活習慣が身についている。」についても、大きく減少しました。季節の変わり目や学年末の忙しさが影響し、家庭での生活習慣が乱れた可能性があり、生活リズムを整える重要性を発信し、家庭と連携して改善を図っていきます。

教職員の結果から

- 保護者アンケートの結果同様に、学校の指導が生活や学びに実践的に活かされていることを評価する結果となりました。より家庭や地域活動で活用できる具体例を授業内で紹介し、学びを実生活に定着させる方法を継続的に取り組んでいきます。「日頃、いろいろなことに疑問をもち、どうしてなのかを考えることができている。」の項目では、0.3 上がり、一人一台端末の積極的な活用を意識し、探究的な学習や、考える力を育む授業の成果が出ていることが考えられます。今後はさらに発展させ、学びの成果を他の学年や保護者に発表する場を設けるなどの工夫を行っていきます。また、児童・保護者ともに「ふるさと学習」への取組は大きく向上しました。子どもたちが興味・関心をもてる活動を設定できたことが評価に繋がっていると考えられます。
- 「他者への思いやりの心をもって優しい気持ちで生活することができている。」では、0.1 下がる結果となりました。道徳教育やグループ活動を通じて、他者への理解や共感を深める機会を提供できるように工夫を行っていきます。
- 今後は「協働活動の充実」「生活習慣の啓発」「地域とのつながり強化」「挑戦を評価する仕組みづくり」を意識した教育活動を推進していきたいと考えています。